

農業が持つ多面的機能という価値

次の世代につなげて
いくために



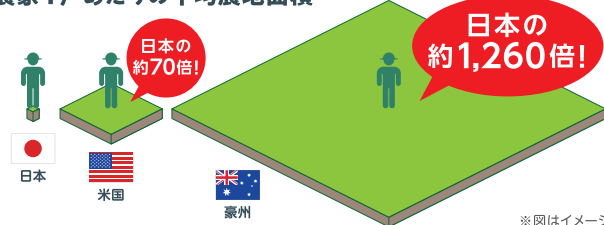
JAグループサポーター
林修

なぜ今?
国消国産

中山間地域の自然も生かした
農業や食が、日本の特色

日本は食料の約6割を輸入に頼っています。米国や豪州などは、広大な農地でその規模に合った大型機械を使って農業をしていますが、なぜ、日本では同じ方法で自給率を上げることができないのでしょうか。それは、日本は起伏の激しい中山間地が多く、広大で平坦な土地が少ないためです。国土面積の約7割を中山間地域が占めている日本では、標高差や豊富で良質な水資源などの自然を生かした農業を展開しています。

農家1戸あたりの平均農地面積

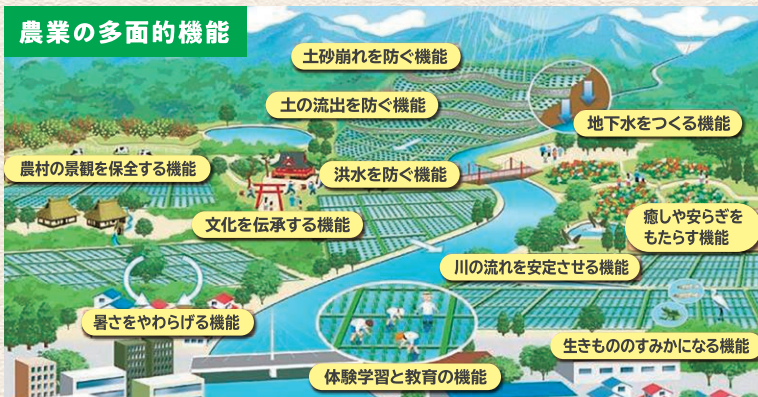


※図はイメージ

出典：日本は「平成29年農業構造動態調査」、米国は「Farms and Land in Farms 2016 Summary」(米国農務省)、豪州は「Agricultural Commodity Statistics 2016」(豪州農漁業省)

農業が持つ食料生産以外の重要な役割「農業の多面的機能」

農業は、食料を生産するだけでなく、「農業の多面的機能」という重要な役割も果たしています。中山間地域など斜面に畑や水田があることで、川の洪水や土砂崩れを防ぎ、また、市街地や都市の農地は気温上昇を抑えたり、災害時の防災空間になるなど、多くの機能を発揮しています。さらに、多くの生き物のすみかになり、美しい景観を生み出しています。



農林水産省(https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/img/zentai02.jpg)の図を加工して作成

だから今!
国消国産

「国消国産」で
「農業の多面的機能」の持続を

普段は気づきにくい「農業の多面的機能」ですが、中山間地や都市部を問わずに、私たちの生活や自然環境をしっかり守ってくれています。「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」の大切さを、私たち一人ひとりが意識して、「農業の多面的機能」を次の世代につなげていくことが重要です。

ここがポイント!

- 日本の国土の約7割は中山間地域、その地形に適した農業を展開
- 農業は国土の保全、多様な生態系維持など「多面的機能」を発揮
- 「国消国産」で、「農業の多面的機能」を持続可能なものに



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ